



大浜中だより

—保護者と地域の皆様への広報誌—

平成 29 年度

12 月号

掛川市立大浜中学校

—家庭や地域の大切さ（第 67 回社会を明るくする運動入賞作文より）—

12 月 9 日（土）、掛川市文化会館シオーネにて、掛川市地区更生保護大会（第 67 回社会を明るくする運動作文コンテスト表彰式を含む）が行われ、本校から 3 人の生徒が表彰されました。昨年は、土門華さんの「あいさつを大切に」が「掛川市長賞」に選ばれましたが、本年度も大浜中学校から最優秀賞となる「掛川市長賞」が二点選ばれました。とても素晴らしいことです。

★掛川市長賞（掛川市地区推進委員会委員長賞）

大浜中 1 年 田中雪葉さん 「家庭や地域の大切さ」

★掛川市長賞（掛川市地区推進委員会委員長賞）

大浜中 1 年 夏目こはるさん「犯罪のない社会を作るために」

◆掛川市地区協力雇用主会会長賞

大浜中 1 年 俵山亜純さん 「麻薬の怖さ」



3 作とも力作でした。田中さんの作品は、家庭や地域の大切さをテーマにした作品で、皆さんにも特に意識してもらいたい内容ですので紹介したいと思います。（校長：堀内祥行）

「家庭や地域の大切さ」 大浜中 1 年 田中雪葉

中日新聞に「少年と罪」という特集が掲載されていた。第一部ではリンチ殺人事件、第二部では神戸連続児童殺傷事件、第三部ではストーカー殺人事件について書かれていた。第三部の事件では、十七歳で事件を起こし、一度は社会復帰したものの、家族とうまくいかず、経済的にも苦しかったため、また罪を犯してしまった。この犯行の理由は、刑務所に戻ると食事が 3 回出るし、親との不仲などから生活に嫌気がさしたから。そして、相手は誰でも良かった。全く関係のない女性を自分の都合だけで急に傷つけてしまった、という悲しい事件だ。

犯罪を減らすためには、まず加害者に基本的な考え方を身に付けさせることが大切だと思う。加害者は、まず行動の仕方や考え方に過ちがある。それを変えるためには、家族や回りで関わる人たちがより良い環境を作り、基本的な考え方を身に付けさせるのが、犯罪を減らす第一歩だと思う。

まずいじめをなくすことだ。なぜなら、私はいじめは犯罪につながっていると思うからだ。いじめは直接体を傷つけなくても、言葉で心を傷つけ、精神的に追いやってしまい、自殺をしてしまう子もいる。いじめを減らすためには、被害者の気持ちに寄り添うことは大事だが、加害者の気持ちを考えることも重要だ。いじめは、加害者をなくさないで、なくすことはできない。しかし、加害者は怒られても深く反省せずに終わることがある。そうするとまた加害者はいじめを起こす。悪循環が起きてしまう。それを止めるためには加害者の話を聞き、しっかり反省させることが必要だ。加害者は、自分が悪いということを自覚し、自分が悪いと認めればいじめはぐっと減っていくだろう。いじめをなくし、みんなが仲良くなる社会になってほしい。

最近の家庭は昔と変わってきた。そして核家族化が進んでいる。さらに親は忙しく、子どもは親と話す時間が与えられずさみしい思いをするだろう。そのせいで子どもはスマートフォンをもらい、インターネットや SNS の世界にはまり、そこに閉じこもってしまう。



インターネットから悪い情報を得て、親に相談せず行動に出てしまう人もいます。それをなくすためには、家族で会話をするのが良いと思う。例えば今日あった一日の出来事を話すと笑いがおき、その人の感情も豊かになる。さらに会話するとコミュニケーション能力も上がり、親子の信頼関係が築かれとてもいいことだと思う。この方法で改善すると思う。

最近は、核家族化のせいで、地域との関わりをほとんど持たない人もいるだろう。そうなってくると親は子どもを自分たちだけで見なくてはいけなくなってくる。子どもの教育は、全て親にかかり、疲れ果て、子どもの面倒をあまり見ない育児放棄になってしまいうこともある。そんな環境で育った子どもは良い判断ができず、人を傷つけたり、罪を犯したりしてしまうことが少なくない。

では、それを解決するためにどうすればいいか。一番に地域との交流を深めることが良いと思う。まず、家族で地域の行事に参加する。そうすることで近所の人に顔を覚えてもらえる。覚えてもらえると会うたびにあいさつがもらえるようになり、自然にあいさつを返すのであいさつする習慣がつく。他にも悪いことをしていたら注意してくれるし、いいことをしていたらほめてもらえる。そのおかげで自分を認めてくれる人ができ、しっかりとした判断ができるようになる。また、地震や火事などが起きた時も地域の人で協力し合うことができる。

二番に高齢者と子どもとの交流をもっと増やすことだ。高齢者の方で、特に都会の人は、家にいてもすることがないと思っている人が多くいるだろう。子どもは親はいなく、することもないので結局はスマートフォンやゲームばかりいじってしまう。そのために交流を増やし昔ながらの遊びをやってみるのはどうだろうか。高齢者の方と交流することで、昔ながらの考え方や昔あった出来事を知ることができるだろう。そしてこの知識は、社会に出た時にはたくさんの人と共存していく知恵にもなるし、前向きに物事を考えるようになるだろう。

このように家庭や地域が協力をしていき、より良い環境作りをすることが大事だと思う。私は、家庭や地域に協力し、犯罪のない社会作りに貢献していきたい。

※読みやすいよう、一部加除修正あり。

ー中日ドラフト1位！鈴木博志先輩の凱旋記念交流会が行われましたー



竜・鈴木博 後輩にエール 掛川・大浜中

29.12.08 中日新聞

ズカ (20) が7日、母校の大浜中学校(掛川市大浜)で、後輩らと交流した。一関連面

中日ドラゴンズに1位指名され、入団が決まった鈴木博志選手の、母校凱旋記念交流会が12月7日(木)本校体育館で行われました。鈴木選手は、平成24年3月に本校を卒業したOBです。この日は、テレビ局2社を含む多くの報道関係者が来校し取材をしてくれました。生徒会、野球部、教員の協力で、暗幕、動画、スポットライト、スモークなど、手作り感満載の素敵な演出で鈴木選手を出迎えました。交流会では、鈴木選手にインタビューしたり、ピッチング指導をしてもらったり

と、終始和やかな雰囲気では進みました。※交流会の動画ニュースがテレビ静岡ニュースのホームページで視聴できます。<http://www.sut-tv.com/news/2017/12/post-2654.php>

訂正とお詫び

大浜中だより 11月号に掲載された1年生の地域探訪の訪問先名称に誤りがありました。正しくは「積水ハウス」です。訂正をするとともにお詫び申し上げます。

回 覧

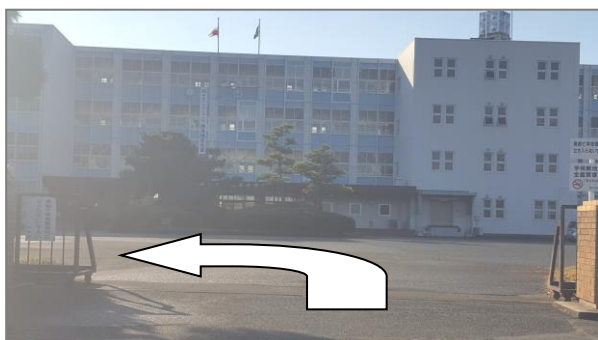
大浜中にリサイクルコンテナを設置

本年度からリサイクルのコンテナを常時設置しました。是非、御利用ください。

1 回収品目 新聞、雑誌、雑紙、段ボール

2 設置場所 体育館北側

※ 土、日、祝日にも置きに来ることが可能です。



正門を入り左折



降ろしたらUターン
(直進不可)



よろしくお願いします。



来年も資源回収を年間2回実施予定です。御協力お願いします。

第1回(予定): 平成30年5月19日(土) 予備日: 平成30年5月20日(日)

第2回(予定): 平成30年10月13日(土) 予備日: 平成30年10月14日(日)

問い合わせ 掛川市立大浜中学校(教頭) 72-2509